

いきいき・海の子・浜づくり事業

整備年/平成11年 整備箇所/明石市大久保町西島から西に約1キロの区間(赤根川～魚住漁港間)

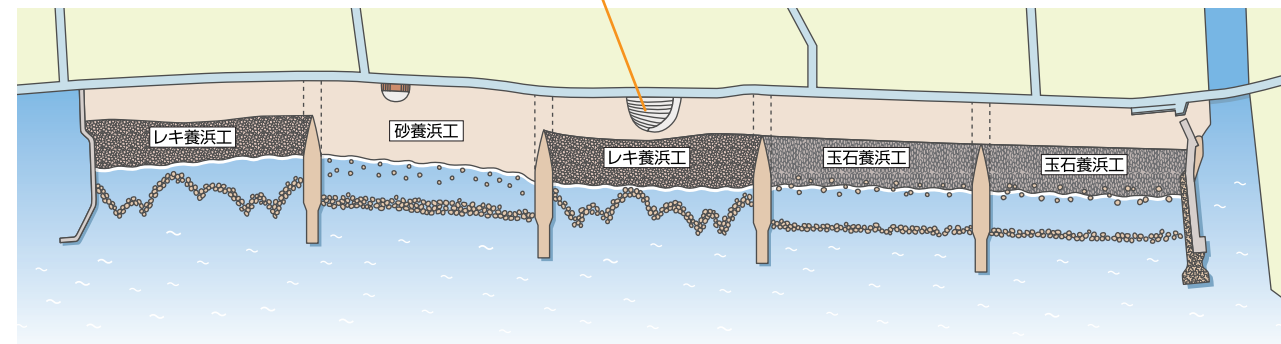
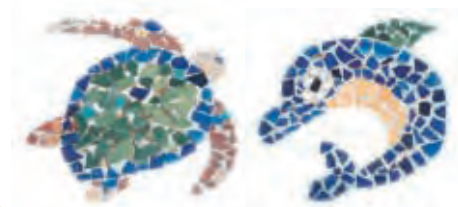
海辺の生き物とふれあい 自然や命の尊さを学ぶ

地元の代表者や漁業組合を含めた「いきいき・海の子・浜づくり推進委員会」において検討され、防災面だけでなく生態系にも考慮した人工海浜整備として実施されました。自然環境学習の場として、明石市立少年自然の家や周辺の小中学校に活用されています。



中央デッキはゆるやかな階段と車椅子の方に配慮したスロープを設置
側面には地元小学生によるタイルアートも

デッキ



砂浜



従来の浜の姿として砂浜の区間も設けています

レキ浜



1t～2tの大きな石のすきまは海の生き物の住みかになります

玉石浜



50cm厚さに敷き詰めた玉石を使って色んな遊びができます

エコ・コースト事業

整備年/平成8年～ 整備箇所/明石市大久保町江井ヶ島～林崎町

自然災害を防ぎ環境を再生 浜の生態系を守る

昭和57年度から人工の砂浜を整備した結果、昭和61年度以後、アカウミガメが産卵に来るようになりました。
平成8年度からは直轄事業として、高波や侵食等の自然災害から海岸を防護するとともに、砂浜や石浜など自然環境に配慮した人工海浜と突堤を組み合わせ自然との共生を目指した海岸事業を推進しています。



エコ・コースト事業実施方針

- アカウミガメの上陸、産卵場所をつくることはもとより、有識者の指導・助言に基づき、多様な生物の生息環境に配慮する。
- 生物の生息状況や海浜植生復元などの生物調査、人工海浜の安定に関する観測を継続的に実施する。
- 地元住民や自治体と連携して、海岸愛護の啓発や周知を行い、海岸利用のルールづくりを目指す。
- 地元住民や学校などの協力により、子どもたちをはじめとした環境教育の場としての活用を図る。



大海原へ旅立っていく子ガメ



ウミガメの足跡が残る夜明けの砂浜



海岸線が著しく侵食された無対策の頃の藤江海岸